

第五期国立国会図書館科学技術情報整備基本計画の実施状況 (概要)

① 資料デジタル化の加速（国内刊行図書等の所蔵資料のデジタル化）

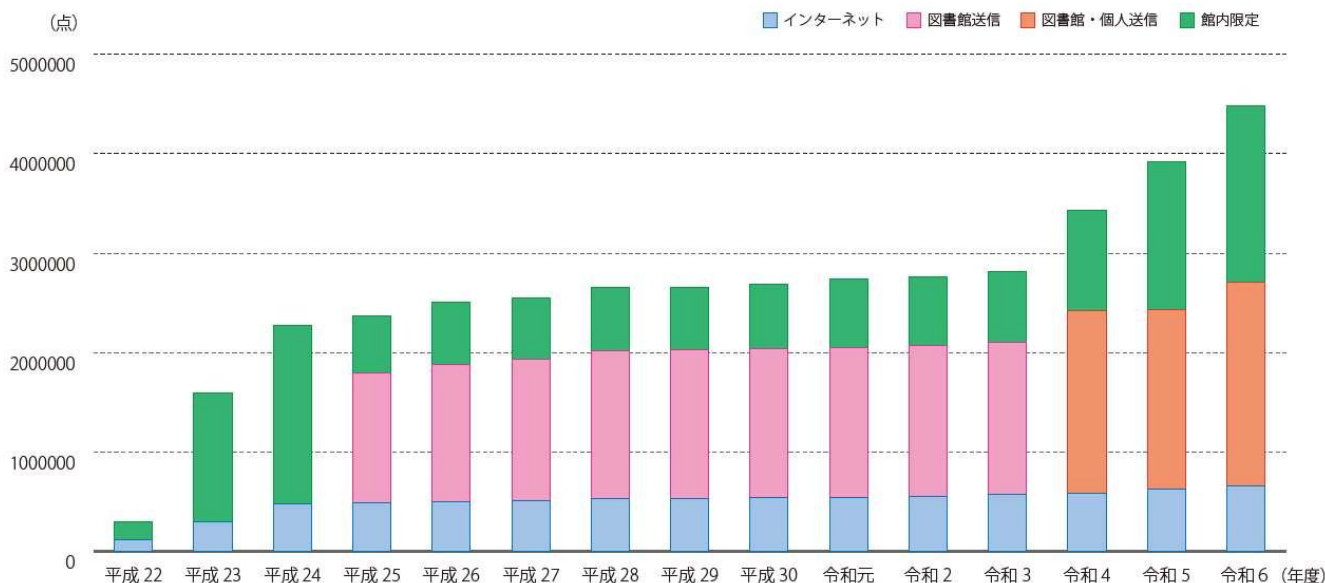
- ・ 所蔵資料のデジタル化を進め、2000年までに刊行された国内刊行図書については、新たに約148万点をデジタル化し、令和7年度中にこれらのデジタル化はほぼ完了する見込みとなった。
- ・ デジタル化された資料は合計で451万点に達し、うち204万点が送信サービスの対象となった。

■ 資料種別デジタル化・送信点数（令和7年4月現在）

資料種別	インターネット 公開資料	図書館・個人 送信対象資料	NDL館内 提供資料	合計
図書	37万点	102万点	94万点	233万点
雑誌	2万点	83万点	56万点	140万点
古典籍	8万点	2万点	0.3万点	10万点
博士論文	1万点	14万点	2万点	18万点
録音・映像 関係資料	-	-	1万点	1万点
その他	17万点	3万点	28万点	48万点
合計	65万点	204万点	182万点	451万点

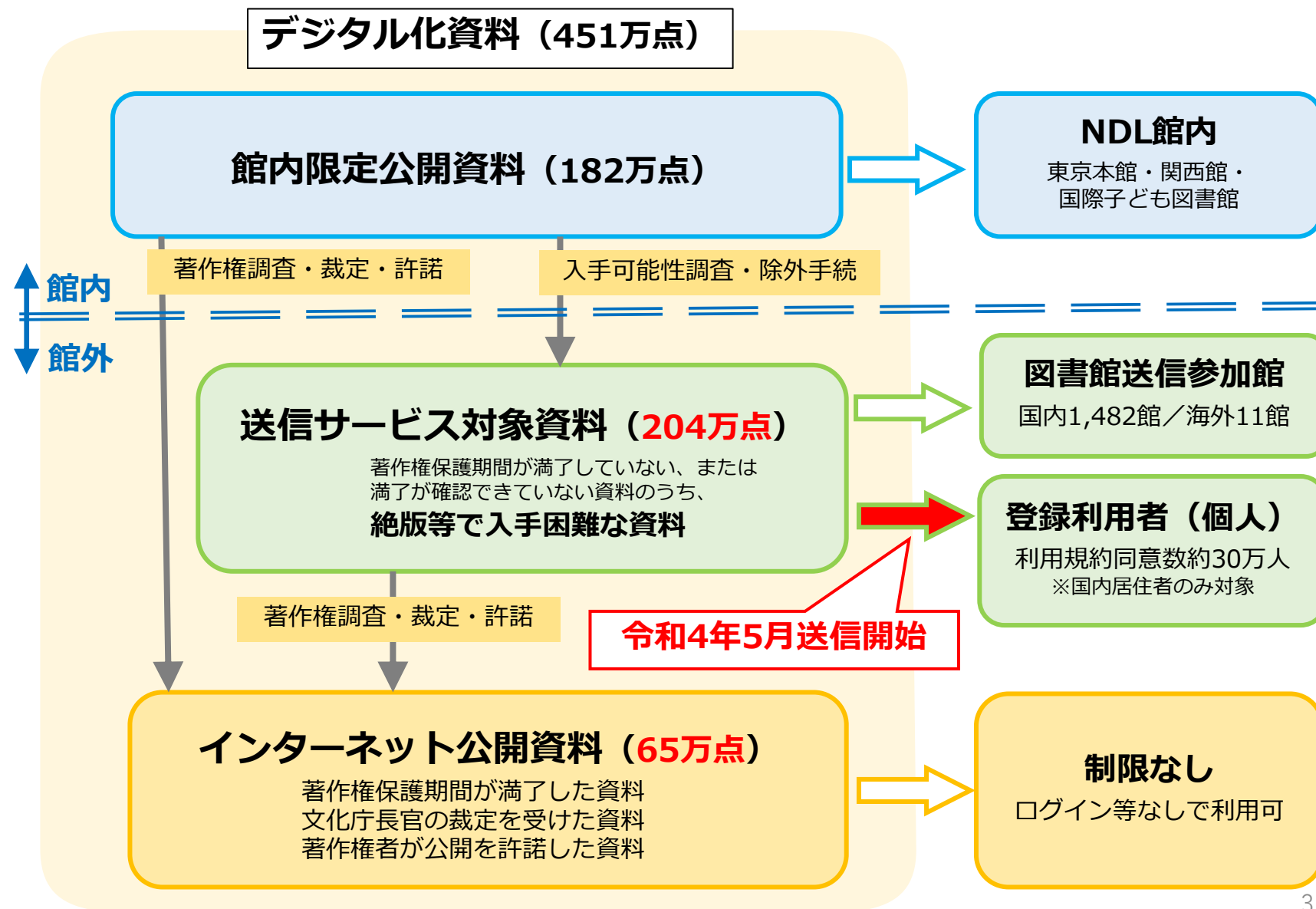
※ 概数のため、合計が合わない場合がある。

■ デジタル化資料の提供数の推移



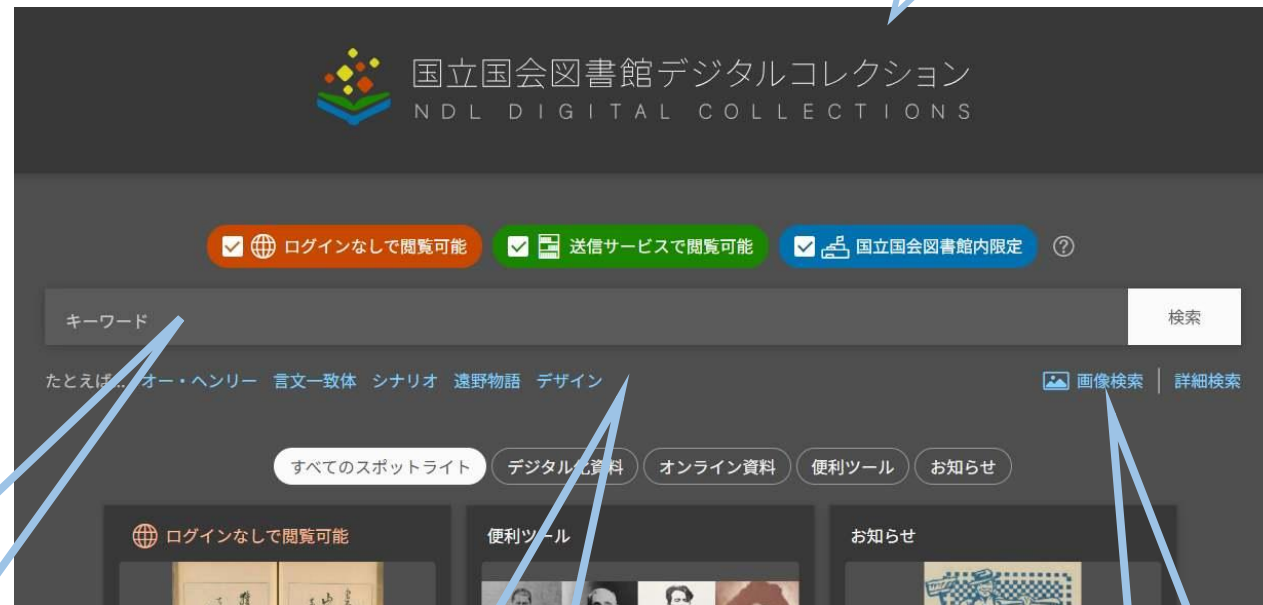
② デジタル化資料の送信サービス拡大（個人向け送信サービスの開始）

- 令和4年5月に個人向けのデジタル化資料送信サービスを開始し、館外への送信サービスの拡大を推進した。
- インターネット公開資料が65万点、図書館・個人送信対象資料が204万点となり、デジタル化資料の約6割にあたる計269万点を、送信サービス参加館や登録利用者の自宅等で利用することが可能になった。

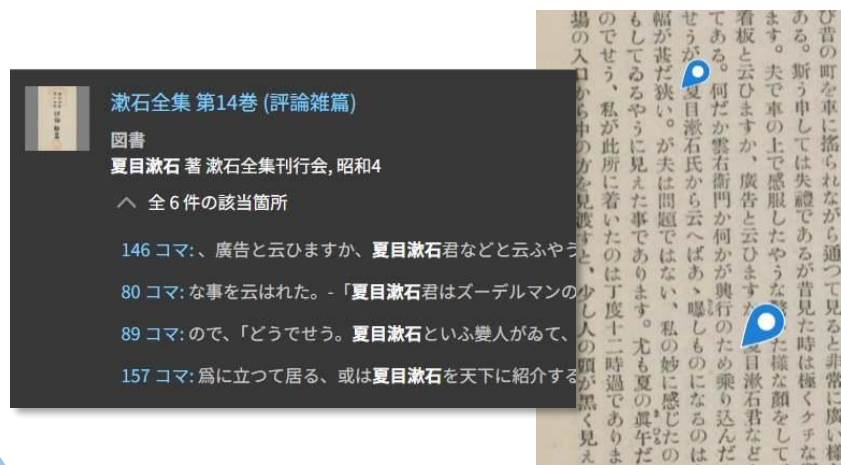


③ デジタル化資料の検索・閲覧機能の拡充 (国立国会図書館デジタルコレクションのリニューアル)

- 令和4年12月に国立国会図書館デジタルコレクションをリニューアルし、大幅な機能の拡充を行った。
- デジタル化資料約319万点の全文テキストデータが、接続する場所を問わず、どこからでも検索できるようになった。



全文テキスト検索機能の強化



閲覧画面の改善

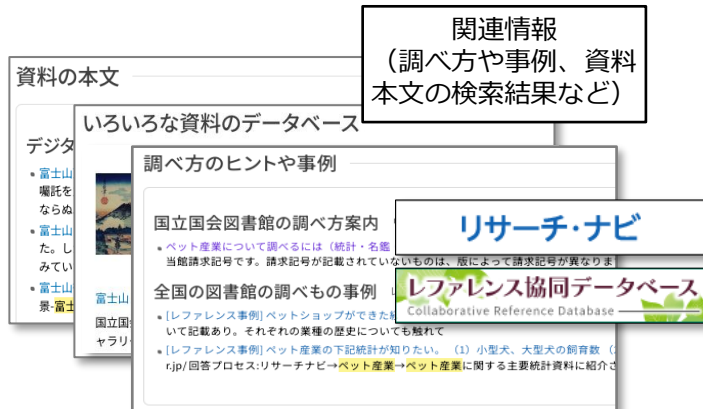


画像検索機能の追加



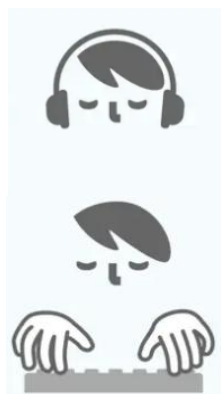
④ 情報へのアクセス環境の改善（新しい国立国会図書館サーチの公開等）

- 令和6年1月の新しい国立国会図書館サーチの公開により、国立国会図書館のデジタル化資料を含めた所蔵資料、WARPで収集したウェブサイト、連携する図書館や研究機関の資料などへの統合的な検索が実現した。
- 調べ方のヒントや事例も一つのサービスから提供し、各情報資源にユーザを適切にナビゲートできるようになった。
- 令和7年2月に、「遠隔複写(PDFダウンロード)」サービスを開始した。

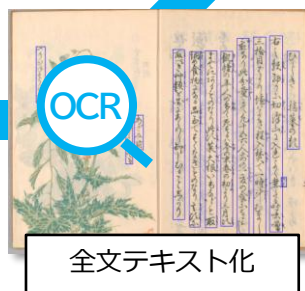


⑤ 情報へのアクセス環境の改善（みなサーチの公開）

- 令和6年1月のみなサーチ正式版の公開により、様々な障害のある方が、いろいろな種類のアクセシブルな資料について、検索から利用まで簡単に行えるように、ユーザーインターフェースが改善された。
- みなサーチを通じて、デジタル化資料約319万点の全文テキストデータを視覚障害者等向けに送信し、音声読み上げや点字表示等に活用できるようになった。



テキストデータを視覚障害者等に送信、音声読み上げや点字表示等に活用可能に

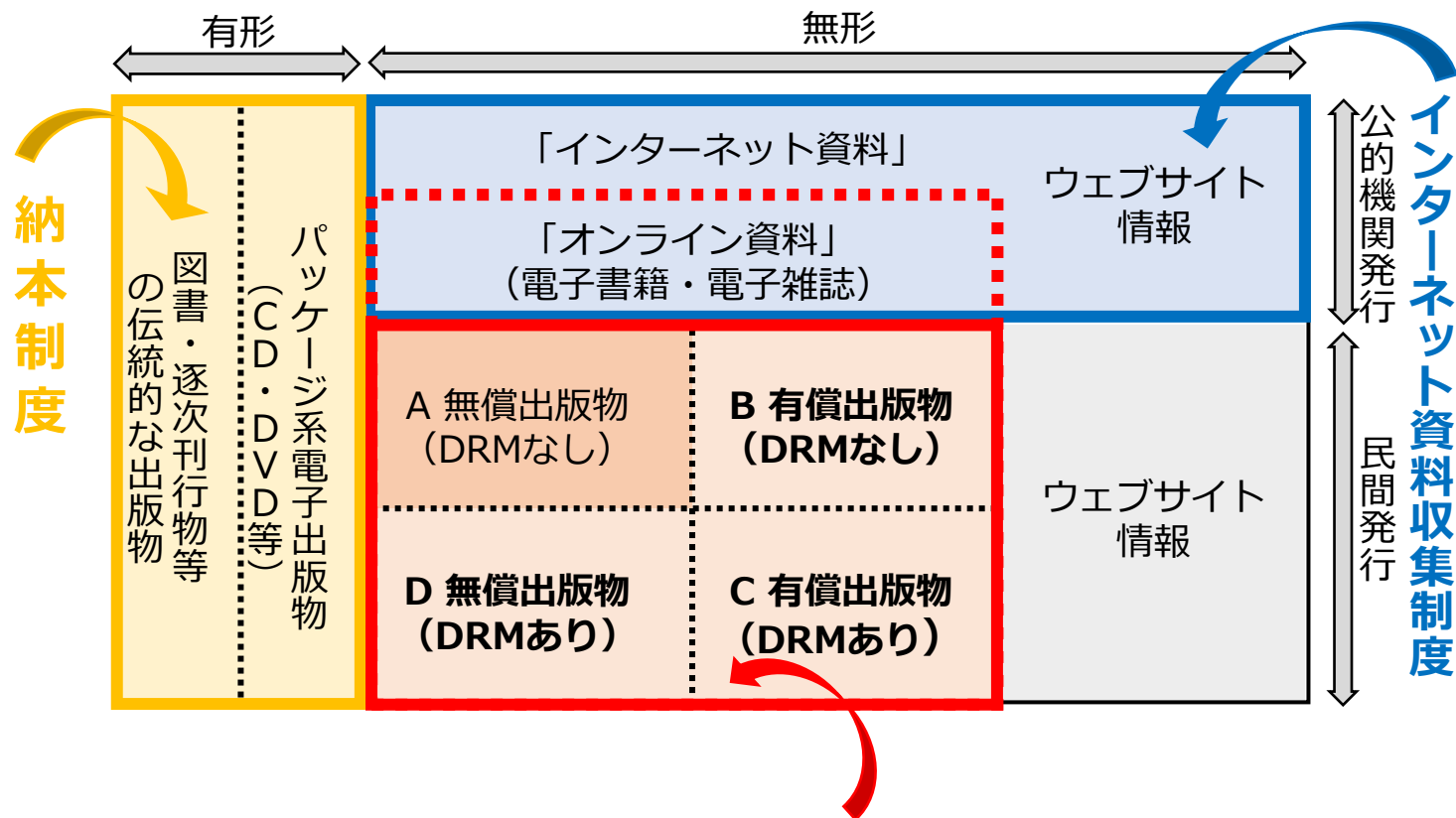


様々な障害のある方が
アクセシブルな資料を検索・利用



⑥ 有償等オンライン資料の制度収集開始

- 平成25年7月から、民間発行のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌）のうち、無償かつDRM（技術的制限手段）のないものを対象に制度収集を行っていた。
（国立国会図書館法第25条の4）
- 令和5年1月から、国立国会図書館法等の改正により、有償又はDRMが付されたものも全て制度収集の対象となった。



オンライン資料収集制度

A群：平成25年7月 収集開始

B・C・D群：令和5年1月 収集開始